

平成29年度 金沢大学教員免許状更新講習開設講座一覧(簡易版)

○必修領域

講座番号	講座の名称	講座の概要	担当講師	会場	時間数	講座の期間	受講対象者	受講料	受講人数	備考
A-1	教育の最新事情A	教育の最新事情を考察する。国の教育政策や世界の教育の動向、教員としての子ども観、教育観等についての省察、子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む。)、子どもの生活の変化を踏まえた課題を考察する。	本所 恵(人間社会研究域学校教育系准教授) 平石 晃樹(人間社会研究域学校教育系准教授) 武居 渡(人間社会研究域学校教育系教授) 萱原 道春(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会第1講義棟 101講義室 自然科学講義棟 大講義室 レクチャーホール	6時間	平成29年8月17日	石川県内の河北以南の全教員	6,000円	650人	「A-2」の受講はできません。
A-2	教育の最新事情B	教育の最新事情を考察する。国の教育政策や世界の教育の動向、教員としての子ども観、教育観等についての省察、子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む。)、子どもの生活の変化を踏まえた課題を考察する。	小林 淳一(金沢学院大学文学部准教授) 瓦林亜希子(北陸大学未来創造学部講師) 澤田 忠幸(石川県立大学教養教育センター教授) 白木みどり(金沢工業大学基礎教育部教職課程教授)	石川県立生涯学習センター能登分室(能登空港ビル4階) 講義室A・B	6時間	平成29年8月21日	石川県内の羽咋以北の全教員	6,000円	100人	「A-1」の受講はできません。

○選択必修領域

講座番号	講座の名称	講座の概要	担当講師	会場	時間数	講座の期間	主な受講対象者			受講料	受講人数	備考
							学校種	免許職種、教科等	職務経験等			
B-1	法令改正及び国の審議会の状況等並びに学校における危機管理上の課題	時代の変化に伴い変遷する教育改革の動向について、国および自治体の法制度などに視点を据えて検討する。及び、学校内外での学習活動を進める上で教師に求められる危機管理能力を高めるため、具体的な場面を想定しながら検討し、学校生活全般での安全教育の実施につながる要点を学ぶ。また、あわせて、児童生徒を取り巻く情報環境について検討し、適切に活用させるための指導方法について検討する。	田邊 俊治(人間社会研究域学校教育系教授) 土屋 明広(人間社会研究域学校教育系准教授)	人間社会第1講義棟 101講義室	6時間	平成29年8月18日	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	200人	「B-2」 「B-3」 「B-4」 「B-5」 「B-6」 「B-7」の受講はできません。
B-2	教育相談(いじめ・不登校への対応を含む。)の課題A	前半では、いじめに関わる児童生徒の心理とその対応を学ぶ。そして、不登校問題を取り上げつつ、児童生徒の適応支援に関わる教育相談として個別的・組織的対応について、臨床心理学の理論を交えて学ぶ。後半では、乳幼児期から児童期前半の子どもについて、心理的安定と学校移行の問題に焦点を当て、その実態を把握するとともに適切な対応についても学ぶ。	浅川 淳司(人間社会研究域学校教育系准教授) 原田 克巳(人間社会研究域学校教育系准教授)	自然科学講義棟 大講義室	6時間	平成29年8月18日	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	200人	「B-1」 「B-3」 「B-4」 「B-5」 「B-6」 「B-7」の受講はできません。
B-3	進路指導及びキャリア教育の課題	本講習では、学校における進路指導及びキャリア教育の歩みと現状について考察するとともに、現代の子どもや若者の生き方、働き方にかかわる問題に教師がどのように向き合い、取り組むかについて、その課題や方法を検討する。	松田 洋介(人間社会研究域学校教育系准教授) 鳥居 和代(人間社会研究域学校教育系准教授)	自然科学講義棟 レクチャーホール	6時間	平成29年8月18日	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	100人	「B-1」 「B-2」 「B-4」 「B-5」 「B-6」 「B-7」の受講はできません。
B-4	活用・探求を重視した授業・カリキュラムづくり	この講習では、子どもを取り巻く社会情勢の変化や次期学習指導要領等を見据え、育むべき資質や能力について改めて見直し、日々の授業・教育活動の中で「活用」「探求」を重視した授業実践・カリキュラムづくりについて、どのように取り組むかについて、具体的に検討を行う。	加藤 隆弘(人間社会研究域学校教育系准教授) 松田 淑子(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会第2講義棟 402講義室	6時間	平成29年8月18日	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	150人	「B-1」 「B-2」 「B-3」 「B-5」 「B-6」 「B-7」の受講はできません。

B-5	学校を巡る近年の状況の変化並びに様々な問題に対する組織的対応の必要性	社会の変化について検討し、どのような能力が必要になるか考察する。又「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」の諮問に至った理由、学習指導要領改訂へ向けた「三つのポイント」について理解を深め、次世代の学習指導要領への対応について検討する。及び教員をめぐる状況変化と求められる資質・能力についての理解を深め、ICT利活用をはじめとした学校教育の今後の動向、学校の組織特性やミドルリーダーの役割、学校改善のための組織的対応について考察する。	衛 秀敏(北陸大学未来創造学部教授) 佐藤 幸江(金沢星稜大学人間科学部教授)	石川県立生涯学習センター 能登分室(能登空港ビル4階) 講義室A	6時間	平成29年8月22日	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	30人	「B-1」 「B-2」 「B-3」 「B-4」 「B-6」 「B-7」の受講はできません。
B-6	教育相談(いじめ・不登校への対応を含む。)の課題B	午前中の2コマの講義では、いじめ予防プログラムを理論編と実践編に分けて学ぶ。実践編においてはいじめ予防プログラムの様々な方法を体験的に学ぶ。午後の2コマの講義では、教育相談や学級運営など学校現場において有効なカウンセリングの方法と実践について理論と体験的なワークを通して学ぶ。	松下 健(北陸学院大学人間総合学部講師) 齊藤 英俊(北陸学院大学人間総合学部助教)	石川県立生涯学習センター 能登分室(能登空港ビル4階) 講義室B	6時間	平成29年8月22日	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	30人	「B-1」 「B-2」 「B-3」 「B-4」 「B-5」 「B-7」の受講はできません。
B-7	道徳教育の課題	平成30年から小学校で、翌31年から中学校で「特別の教科 道徳」の実施が始まることになり、それに向けて学習指導要領等の改訂作業が進んでいる。そのような状況で、どのような道徳教育が社会的に求められ、教育実践として何を追究するべきなのだろうか。道徳教育の理念、方法、教育改革の現状と課題について検討する。その上で、小中学校の道徳の時間における授業実践と評価について考察することを通して自己の授業に繋げる。	東風 安生(北陸大学未来創造学部教授) 直人(北陸学院大学人間総合学部教授)	のとふれあい文化センター 学習室1, 2	6時間	平成29年8月22日	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	40人	「B-1」 「B-2」 「B-3」 「B-4」 「B-5」 「B-6」の受講はできません。

#### ○選択領域

講座番号	講座の名称	講座の概要	担当講師	会場	時間数	講座の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	備考
C-1	小学校選択講座:図画工作	図画工作科における「つくる活動」の意義、指導計画の配慮事項について講義の後、機構工作の講義と作品制作を通じて機構工作のカリキュラム・学習指導のあり方を検討する。	鷲山 靖(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会第2講義棟 402講義室	6時間	平成29年7月16日	教諭	小学校教諭	6,000円	100人	「C-2」の受講はできません。
C-2	小学校選択講座:図画工作	図画工作科における「つくる活動」の意義、指導計画の配慮事項について講義の後、機構工作の講義と作品制作を通じて機構工作のカリキュラム・学習指導のあり方を検討する。	鷲山 靖(人間社会研究域学校教育系教授)	のとふれあい文化センター 学習室1, 2	6時間	平成29年7月17日	教諭	小学校教諭	6,000円	30人	「C-1」の受講はできません。
C-3	小学校選択講座:社会	社会科が苦手な先生に、社会科を大好きになっていただくための講座です。社会科のおもしろさの必要十分条件とは何か。どうやったらその必要十分条件を盛り込めるようになるのか。豊富な授業例を提示しながら、わかりやすく解説します。	村井 淳志(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会第2講義棟 402講義室	6時間	平成29年7月17日	教諭	小学校教諭	6,000円	150人	「C-4」の受講はできません。
C-4	小学校選択講座:社会	社会科が苦手な先生に、社会科を大好きになっていただくための講座です。社会科のおもしろさの必要十分条件とは何か。どうやったらその必要十分条件を盛り込めるようになるのか。豊富な授業例を提示しながら、わかりやすく解説します。	村井 淳志(人間社会研究域学校教育系教授)	のとふれあい文化センター 学習室1, 2	6時間	平成29年7月22日	教諭	小学校教諭	6,000円	50人	「C-3」の受講はできません。
C-5	小学校選択講座:国語	次のテーマについて専門の立場から講義を行う。①「伝統的言語文化と日本語の特質に関する事項」に関連する教材の扱い、特に古典和歌について理解を深め、児童の興味・関心・意欲を引き出す助けとなる知識を身につける。②「読むこと」の指導を見直す。	山本 一(人間社会研究域学校教育系教授) 折川 司(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会第1講義棟 201講義室	6時間	平成29年8月28日	教諭	小学校教諭	6,000円	150人	
C-6	小学校選択講座:音楽	小学校の音楽授業づくりにおける基礎的・基本的な内容及び指導方法について、それぞれの領域ごとに再確認し、実際に具体的な教材、授業実践を通して学ぶことを目的とする。歌唱の活動、器楽の活動、音楽づくりの活動、及び鑑賞の活動である。	篠原 秀夫(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会4号館 音楽ホール	6時間	平成29年7月29日	教諭	小学校教諭	6,000円	70人	

C-7	小学校選択講座:理科・算数・英語	理科学習指導要領にもとづく小学校理科(生物・地学分野)の内容を解説し、科学的思考を育てる指導について講義する。 算数学習指導要領にもとづく小学校算数科の学習指導や数学的内容について解説し授業改善に資する。 英語学習指導要領にもとづく小学校英語の指導方法をコミュニケーションや言語習得の観点から解説する。	川幡 佳一(人間社会研究域学校教育系教授) 酒寄 淳史(人間社会研究域学校教育系教授) 伊藤 伸也(人間社会研究域学校教育系准教授) 滝沢 雄一(人間社会研究域学校教育系准教授)	人間社会第2講義棟 402講義室	6時間	平成29年8月23日	教諭	小学校教諭	6,000円	150人
C-8	小学校選択講座:生活科・総合的な学習の時間	小学校における「生活科」と「総合的な学習の時間」の理論と先進的実践群を学ぶ。本講座で取り上げる実践事例は、「生活科」や「総合的な学習の時間」が教育課程に導入される以前から優れた総合学習の実践校として認知されてきた小学校のものである。子どもの興味・関心に沿い、子どもが本来持っている学ぶ力をより引き出す授業実践を考える。	土井 妙子(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会第2講義棟 402講義室	6時間	平成29年7月23日	教諭	小学校教諭	6,000円	100人
C-9	小学校選択講座:活動を中核に据えた授業づくりと教師の支援	小学校第2学年生活科「わたしはちいさなおひやくしょうさん(野菜を育てよう)」の単元を丸ごと例にしながら、活動・体験を中核に据えた単元のつくり方、活動における支援のあり方、学び合いの場のもち方、単元全体の振り返りの仕方(評価)について、具体的に指導する。なお、講義は、一方的に聞くスタイルではなく、受講者の参加型とする。	松本 謙一(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会第2講義棟 208講義室	6時間	平成29年8月24日	教諭	小学校教諭(幼稚園教諭も可)	6,000円	50人
C-10	小学校選択講座:家庭	小学校家庭科について、教科の特徴を確認するとともに、「身近な消費生活と環境」の領域と「被服」の領域を学ぶ。身近な消費生活と環境の領域では、他領域・教科との連携も含めて当該領域の考え方・展開方法を検討する。また、被服領域では、衣服に用いられている素材の物理特性に関する講義および実験を行う。衣服素材の特徴を理解することによって、被服領域全般における系統的な授業展開を目指す。	尾島 恭子(人間社会研究域学校教育系教授) 森島 美佳(人間社会研究域学校教育系准教授)	人間社会第2講義棟 309講義室 3号館1304講義室	6時間	平成29年8月29日	教諭	小学校教諭	6,000円	20人
C-11	日本文学研究の最近の動向と課題	教材研究を行う上で参考となるよう、日本文学研究の最近の動向を知り、具体的な作品に関する問題を取り上げる。また、近年話題になっている古典文学及び近現代文学に関する問題について取り上げる。これらを通じて、さらに教育上の課題についても考える。	西村 聡(人間社会研究域歴史言語文化学系教授) 杉山 欣也(人間社会研究域歴史言語文化学系教授)	人間社会第2講義棟 401講義室	6時間	平成29年7月16日	教諭	中学校・高等学校(国語)教諭	6,000円	50人
C-12	日本近現代文学の読解	作品の正確な理解に基づいた教材研究の方法の修得を目的として、日本近代文学の作品を取り上げ、虚構や語りの問題、テキストのなかの身体、また作品の背景にある文化や社会の問題などといった観点から考察する。	飯島 洋(人間社会研究域学校教育系准教授) 近藤 明(人間社会研究域学校教育系教授)	総合教育講義棟 A-1講義室	6時間	平成29年7月15日	教諭	中学校・高等学校(国語)教諭	6,000円	50人
C-13	グローバル時代のニーズに応える国語教育とその課題—日本語学、日本語教育学の視点から—	グローバル時代は、世界の諸言語の一つとして日本語について学ぶことの重要性に気づかせてくれる。1コマ目・2コマ目は、日本語学の視点から、国語教育における言語学習、敬語学習、文法学習の問題点について考え、国語を面白くするための提案をしてみた。また、グローバル時代を迎え、日本語を母語としない児童・生徒が教室で学ぶ状況が増えてきた。3コマ目では日本語教育の視点からそのような子どもたちへの指導上の課題について考える。	加藤 和夫(人間社会研究域歴史言語文化学系教授) 深澤 のぞみ(人間社会研究域歴史言語文化学系教授)	人間社会第2講義棟 208講義室	6時間	平成29年7月17日	教諭	中学校・高等学校(国語)教諭、 小学校教諭も可	6,000円	50人
C-14	おもしろさと納得感の得られる授業をつくるために	歴史の授業がおもしろくないのは、因果関係の説明がクリアではなく、納得感が得られないことが原因です。因果関係のストーリーに意外性と説得力があれば、「へえ〜」「なるほど」と生徒たちは前のめりに聞いてくれるでしょう。因果関係のカギは技術・人口・国際関係、いずれも純粋文系人間である歴史の先生には、意外と苦手なところ。授業をしていて、どうもしっくりこないモヤモヤ感を晴らします。	村井 淳志(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会第2講義棟 208講義室	6時間	平成29年7月16日	教諭	中学校(社会科)・高等学校(地理歴史・公民)教諭	6,000円	50人
C-15	歴史学研究のフロンティア	歴史のテーマによっては、すでに定着したと思われる解釈や捉え方も、視点や切り口を変えて捉え直すことによって、新しい像を生み出すことがある。またそこから、これまでほとんど顧みられなかった分野や地域を開拓していくこともある。本講習では、東洋史学、西洋史学から、前近代あるいは近現代を対象とした計4つのテーマについて、研究の動向と現状を学ぶことを目的とする。	田中 俊之(人間社会研究域歴史言語文化学系教授) 古市 大輔(人間社会研究域歴史言語文化学系教授) 安部聡一郎(人間社会研究域歴史言語文化学系准教授) 堀内 隆行(人間社会研究域歴史言語文化学系准教授)	人間社会第2講義棟 208講義室	6時間	平成29年7月30日	教諭	中学校(社会)・高等学校(地理歴史・公民)教諭	6,000円	50人
C-16	身近な家族から現代社会を考える	人口構造と家族の変動がもたらした働き方・生き方とケアをめぐる現代の社会問題を社会的視点から分析し検討する。少子高齢化と核家族化に関して、20世紀を通してデータをみながら背景にある社会変動との関連を把握した上で、ケア、特に家族介護に関わる最近のトピックをとりあげて、身近な存在である家族を起点として社会や政策の変遷に気づき、現代社会の構造を考える題材やヒントを提供したい。	高橋 涼子(人間社会研究域人間科学系教授)	人間社会第2講義棟 208講義室	6時間	平成29年8月10日	教諭	中学校(社会)・高等学校(地理歴史・公民)教諭	6,000円	50人

C-17	現代数学への道—虚数と級数—	19世紀後半以降の現代数学とそれまでの数学とは大きな隔りがある。その理由は様々であるが、1つあげると虚数の理解である。実は虚数は突然誕生したわけではなく、その存在が疑われた期間が数百年続いた。当時の数学者たちがどのようにして虚数を理解していったかを解説する。大きな隔り理由の1つに無限級数も候補にあげられるであろう。無限級数にまつわる不思議な公式も紹介する。	川越 謙一(理工研究域数物科学系講師) 加須榮篤(理工研究域数物科学系教授) 牛島 顕(理工研究域数物科学系准教授)	先端科学・イノベーション推進機構 セミナー室	6時間	平成29年7月31日	教諭	中学校・高等学校(数学)教諭	6,000円	50人
C-18	円周率と逆正接系公式	円という図形の性質に昔から興味が持たれたのは、実用性の観点のみならず知的好奇心の観点からも自然な事であった。円の長さや面積を求める事は、この図形の性質に関する基本的な問題であり、円周率はその問題を解く鍵となる数値です。数学の授業で扱われる基本的な図形の一つである円について、円周率のより正確な値を求める為の紀元前から始まる人類の努力の過程を紹介すると共に、具体的な計算方法として逆正接系公式と呼ばれるものを取り上げて解説します。	牛島 顕(理工研究域数物科学系准教授) 加須榮篤(理工研究域数物科学系教授) 川越 謙一(理工研究域数物科学系講師)	先端科学・イノベーション推進機構 セミナー室	6時間	平成29年7月30日	教諭	中学校・高等学校(数学)教諭	6,000円	50人
C-19	幾何学点描	前半では、合同変換と曲線の幾何について考察する。中学校および高等学校数学の図形と計量に関する領域を補う内容である。後半は、グラフの幾何に触れ、幾何学の一つの展開を紹介する。	加須榮篤(理工研究域数物科学系教授) 牛島 顕(理工研究域数物科学系准教授) 川越 謙一(理工研究域数物科学系講師)	先端科学・イノベーション推進機構 セミナー室	6時間	平成29年7月29日	教諭	中学校・高等学校(数学)教諭	6,000円	50人
C-20	現代ニーズに応える生物学の最新事情	近年の分子レベルでの解析技術の著しい進歩により、生物学は飛躍的に発展している。本講座では、分子(核酸、タンパク質)、細胞、個体を研究対象とするいくつかの研究分野において、教科書の内容から話を起こし、身近な話題と絡めつつ、最新の情報を提供する。教科書に記載されている内容を大幅に補強することで、「生物」の授業に厚みを持たせること、また、「生物」を専門としない教員に対しても最新の生命科学を紹介することを目的とする。	金森 正明(理工研究域自然システム学系講師) 岩見 雅史(理工研究域自然システム学系教授) 東(遠藤)浩(理工研究域自然システム学系准教授)	自然科学講義棟 102講義室	6時間	平成29年8月24日	教諭	中学校・高等学校(理科)教諭	6,000円	50人
C-21	現代地球科学の諸問題	近年の地球科学の動向を展望して、特に進展著しく理解を深めておく必要があると思われるトピックをいくつか取り上げて重点的に解説する。 大トピック1: 島弧から大陸へ—島弧火山が作る大陸地殻。2: 地球深部掘削計画—海洋プレートをつくるマグマ活動と地下生命圏。 大トピック2: 長期気候変動と地球環境。2. 水文環境の変動と地表プロセス。	海野 進(理工研究域自然システム学系教授) 柏谷 健二(金沢大学非常勤講師) 荒井 章司(金沢大学特任教授) 佐川 拓也(理工研究域自然システム学系助教)	自然科学講義棟 102講義室	6時間	平成29年7月29日	教諭	中学校・高等学校(理科)教諭	6,000円	30人
C-22	中・高理科講座:化学	理科実験において実験データの処理やモデルを用いた解析は重要である。本講座は化学計算に良く使われるデータ処理や解析を、エクセルを使って簡単に行う方法について講習する。また講義の中では、エクセルの基本操作から、最小二乗を使ったデータ処理、数値計算やシミュレーションなどを演習形式で行う。	井田 朋智(理工研究域物質化学系准教授)	総合メディア基盤センター 第1実習室	6時間	平成29年8月25日	教諭	中学校・高等学校(理科)教諭	6,000円	50人
C-23	【選択】現代物理学の基礎—アインシュタインの相対性理論	19世紀、光の正体をめぐる論争の末、光速度が観測者の速度に依らないという大矛盾が明らかになった。アインシュタインは、光速度を絶対的とするれば時間と空間が相対的となる事を導き、相対性理論を打ち立てた。本講習では、予備知識を仮定せず簡単な算数計算だけで相対性理論とその帰結を導く。また教室で生徒が実行可能な波の性質を調べる実験と霧箱による素粒子観測の実験も行う。	青木 健一(理工研究域数物科学系教授) 末松大二郎(理工研究域数物科学系教授)	自然科学5号館 521・524号室	6時間	平成29年8月23日	教諭	中学校・高等学校(理科)教諭	6,000円	20人
C-24	「保健体育科の教材研究と指導法」&「コーチングのバイオメカニクス」	「保健体育科の教材研究と指導法」では、今日の教育実践の特質を踏まえつつ、体育実践において求められる教材研究や体育指導法について解説する。「コーチングのバイオメカニクス」では、バイオメカニクスの基礎的な知識を概説し、コーチングへのバイオメカニクスの利用方法についてとりあげる。	山田 哲(人間社会研究域学校教育系准教授) 横山 剛士(人間社会研究域学校教育系准教授)	人間社会第2講義棟 208講義室	6時間	平成29年8月28日	教諭	中学校・高等学校(保健体育)教諭	6,000円	50人
C-25	保健体育科の授業と学校体育経営	本講座では、学習指導要領をいかした保健体育科の授業づくりと学校体育経営の課題について話題提供をします。体育分野に関しては、「授業づくりのポイント」、「体育授業と学校体育経営(特別活動や運動部活動)の課題」について述べます。保健に関しては、学習指導要領の保健分野、科目保健のポイント、及び保健の学習指導方法の工夫改善を進める上での留意点等について取り上げます。	岩田 英樹(人間社会研究域人間科学系教授) 藤谷かおる(人間社会研究域人間科学系教授)	人間社会第2講義棟 201講義室	6時間	平成29年8月24日	教諭	中学校・高等学校(保健体育)教諭	6,000円	50人

C-26	音楽教師のためのピアノ実技	任意のピアノソロ作品又は器楽曲、声楽曲の任意のピアノ伴奏、中高音楽教科書に掲載されている歌唱教材等のピアノ伴奏の実技レッスンをとする。	小野 隆太(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会4号館 第1ピアノ室	6時間	平成29年7月22日	教諭	中学校・高等学校(音楽)教諭	6,000円	20人
C-27	学校教育における実践的な歌唱法および歌唱指導法	中学校・高等学校の音楽の教科書で扱われている合唱曲と独唱曲の教材をとり上げ、その歌唱法と指導法を考察しながら、日本語と外国語の発音の違いなどを学ぶ。	安藤 常光(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会4号館 音楽ホール	6時間	平成29年7月23日	教諭	中学校・高等学校(音楽)教諭	6,000円	20人
C-28	音楽科教員のための作編曲講座	より実践的な音楽理論の理解を深めることを目的とします。はじめに、既成の教材や講師が編曲した楽曲をつかって、和声法・対位法の基礎を復習します。その後、歌唱・合唱・合奏教材などをを用いて受講生全員で編曲を試みます。最後に完成した楽曲は、受講生で演奏発表し、演奏効果の面からも考察します。編曲の素材は基本的には実際の教材を用いて頂きますが、校歌の伴奏やクラブ活動のための楽曲などを用いることも可能です。	浅井 暁子(人間社会研究域学校教育系准教授)	人間社会4号館 音楽ホール	6時間	平成29年7月30日	教諭	中学校・高等学校(音楽)教諭	6,000円	20人
C-29	フレスコ画の技法・材料と制作	中世イタリアを中心としたフレスコ画について、講義と実技を行う。特にルネサンスやそれ以前の壁画、工房制作におけるフオン・フレスコ画について、技法史、材料論を中心に講義する。また、実技では当時の手順に基づいた、フレスコ画の制作を実施する。	大村 雅章(人間社会研究域学校教育系教授) 鷲山 靖(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会4号館 第12演習室	6時間	平成29年7月27日	教諭	中学校・高等学校(美術)教諭	6,000円	20人
C-30	彫刻教材のための理論と実技	本講習は3部構成である。第1部では彫刻教材の検討・展望について意見交換をする。第2部では彫刻の種類や造形要素について、著名な作品を取り上げて概説する。第3部では石膏を用いた題材を紹介するとともに、制作(円筒印章によるレリーフ)を通してその授業法について検討する。	鷲山 靖(人間社会研究域学校教育系教授) 江藤 望(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会第2講義棟 造形講義室 103講義室	6時間	平成29年7月22日	教諭	中学校・高等学校(美術)教諭	6,000円	10人
C-31	デザイン教育と映像メディア表現	講習では、美術科教育におけるデザイン教育の役割を考えます。また、スウェーデンの美術科教育についての講義、昨今注目される映像メディア表現の実技を行い、多角的にデザイン教育について考えます。実技では、ペンライトの光を使った簡易アニメーション制作を行います。	池上 貴之(人間社会研究域学校教育系准教授) 鷲山 靖(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会第2講義棟 303講義室	6時間	平成29年7月23日	教諭	中学校・高等学校(美術)教諭	6,000円	20人
C-32	ものづくり学習・教育の魅力	ものづくり学習に関する技術科及び芸術科工芸の現状・展望について意見交換を実施後、鍛金技法による井鍋の制作と親子井の調理を通じて、学校教育における「ものづくり学習・教育」の意義を検討する。	鷲山 靖(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会4号館 陶芸講義室	18時間	平成29年7月29日 ~ 平成29年7月31日	教諭	中学校技術科教諭・高等学校芸術科工芸教諭	18,000円	10人
C-33	家庭科のカリキュラム・授業づくりA	家庭科のカリキュラムや授業を構想するさいの視点・観点について、講義・演習・討論を行う。授業実践例や教材・教具、資料等を分析したり、授業を構想したりしながら進めていく。問題解決型の学習、思考力や市民性の育成、消費者教育の動向、食育との関係、地域に根ざした教材化など、できるだけ今日的課題を取り上げる。	綿引 伴子(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会第2講義棟 309講義室	6時間	平成29年8月9日	教諭	中学校・高等学校(家庭)教諭	6,000円	20人
C-34	家庭科のカリキュラム・授業づくりB	家庭科のカリキュラムや授業を構想するさいの視点・観点について、講義・演習・討論を行う。授業実践例や教材・教具、資料等を分析したり、グループまたは個人で授業を構想したりする。構想した授業について相互に検討し合う。	綿引 伴子(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会第2講義棟 309講義室	6時間	平成29年8月10日	教諭	中学校・高等学校(家庭)教諭	6,000円	20人
C-35	家庭科の授業づくり:保育の現状から	本講習の目的は、現在の保育及び保育を巡る現状と課題を知り、受講者自身がそうした現状と課題を踏まえたうえで、実際の授業の在り方を案出する機会を提供することである。具体的には、まず、保育及び保育を巡る現状と課題について講義をする。受講者による現状と課題に関する集団討論の後に、各自で授業実践例を考案する。	滝口 圭子(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会第2講義棟 309講義室	6時間	平成29年8月25日	教諭	中学校・高等学校(家庭)教諭	6,000円	25人
C-36	Environmental Humanities and Biocultural Diversity	本講習は、学校教育で重視されているESD(Education for Sustainable Development)を念頭においた英語研修である。ESDのさまざまなテーマの中でも、とりわけ石川県が世界に先駆けて取り組んでいるbiocultural diversity(生物文化多様性)に着目し、関連する動きを概観後、文学等を題材にbiocultural diversityからみた現代の諸問題を考察する。講習は原則的に英語で行う。	結城 正美(人間社会研究域歴史言語文化学系教授)	人間社会第2講義棟 209講義室	6時間	平成29年8月23日	教諭	中学校・高等学校(英語)教諭	6,000円	50人

C-37	Spoken languageの文法について	学校文法は「書かれた英語」をもとにして構築された文法である。それ故にちゃんとした英語を読むためには大変有効である。コミュニケーション能力の養成を教育目標とする時代では、読むことに加えて、話すことも教えていかねばならない。話しことばは一見すると無秩序で、欠落的・断片的で、自分の知っている文法では説明のつかないことが多い。本講習では、外国語教育における文法教育の大切さを再認識する観点から、spoken languageの文法について考察する。	澤田 茂保(国際基幹教育院外国語教育系教授)	人間社会第2講義棟 209講義室	6時間	平成29年8月24日	教諭	中学校・高等学校(英語)教諭	6,000円	50人	
C-38	アクティブラーニングで行うライティング・プレゼンテーション	この講習では、ライティングやプレゼンテーションをアクティブラーニングの形で学ぶ授業を体験し、それぞれの教育現場での応用について参加者同士考える。この授業は英語で行い、簡単な英作文や英語プレゼンテーションの練習をしながら、教師が自信を持って教室のファシリテーターになる方策を学ぶ。既に英語による授業に問題のない受講者よりも、これから英語による授業に自信をつけたい受講者を対象とする。	大藪 加奈(国際基幹教育院外国語教育系教授)	人間社会第2講義棟 209講義室	6時間	平成29年7月22日	教諭	中学校・高等学校(英語)教諭	6,000円	50人	
C-39	学校保健に必要な知識のワークシート2017	学校保健・体育に必要な基本的かつ実践的な知識を、以下の項目について提供する。1)ウェルネス向上のための健康教育(食育含む)、2)学校におけるメンタルヘルスマスケア、3)学校における家族面談の実際、4)効果的な運動学習・指導を心理学の側面から再考してみる。講義内容は独立しているが、確認試験は一括して行う。	吉川 弘明(保健管理センター教授) 足立 由美(保健管理センター准教授) 村山 孝之(国際基幹教育院准教授) 小笠原知子(保健管理センター特任助教)	自然科学系図書館 AVホール	6時間	平成29年8月10日	教諭 養護教諭 栄養教諭	中学校・高等学校(保健体育)教諭・養護教諭・栄養教諭	6,000円	50人	
C-40	【選択】インクルーシブ教育と特別支援教育	インクルーシブ教育をめぐる国際動向を参照点として日本の特別支援教育改革の現状と課題について整理するとともに、障害のある子どもの地域や家庭における生活問題を概観しながら、教育福祉の課題を整理する。以上にかかわって具体的な事例や実践を紹介しながら、インクルーシブ教育において学校および教師が固有に果たす役割について考察を深める。	河合 隆平(人間社会研究域学校教育系准教授)	人間社会第2講義棟 402講義室	6時間	平成29年7月22日	教諭 養護教諭	特別支援学校教諭・養護教諭	6,000円	100人	
C-41	通常学級の「気になる子」の理解と支援	学習障害、自閉症スペクトラム障害、ADHDなどの発達障害のある子どもや、構音障害や吃音などの言語障害のある子どもなど、通常学級に在籍する「気になる子ども」の特性や、学校生活における困難を概説するとともに、これらの子どもの対する家庭、在籍学級、通級指導教室などにおける実態把握と指導・支援について、事例を交えながら検討する。	小林 宏明(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会第2講義棟 402講義室	6時間	平成29年8月25日	教諭 養護教諭	特別支援学校教諭・養護教諭	6,000円	100人	
C-42	健康課題の解決にむけた養護実践：自校の健康課題への取組み	学校における健康課題と養護実践について概説し、自校の健康課題解決に向けた実践計画を立案する。自校の健康課題の分析をもとに、実践計画「目的、具体的な実践方法(いつ、だれを対象に、どんなことを行うのか)、評価方法」をグループワークにより検討し、その後、自校の健康課題解決のための実践計画書として作成する。最終的には、その実践を実践研究としてまとめられることを目標とする。	河田 史史(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会第2講義棟 202講義室	6時間	平成29年8月24日	養護教諭	養護教諭	6,000円	50人	
C-43	学校における救急処置と危機管理	・学校における救急処置に必要な基本的事項を生理学の視点から概説する。食物アレルギーの基礎知識と保健室での保健指導に活用できる生理学の内容を示す。 ・学校における危機管理の現状を分析し、その背景に応じた危機管理、保健指導、関係者との連携のあり方を養護教諭の専門性の視点から検討する。	河田 史史(人間社会研究域学校教育系教授) 杉本 直俊(医薬保健研究域医学系准教授)	人間社会第2講義棟 202講義室	6時間	平成29年8月25日	養護教諭	養護教諭	6,000円	50人	
C-44	道徳・倫理(いのちの教育)	日本におけるDeath Educationの典型実践、金森俊朗先生の『性の授業 死の授業』、鳥山敏子先生の『命に触れる』について豊富な映像資料を交えて、わかりやすく解説します。	村井 淳志(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会第2講義棟 402講義室	6時間	平成29年7月30日	教諭 養護教諭 栄養教諭	「いのち」の教育に関心を持つ県下の教員	6,000円	100人	「C-45」「C-46」「C-47」の受講はできません。
C-45	道徳・倫理(いのちの教育)	日本におけるDeath Educationの典型実践、金森俊朗先生の『性の授業 死の授業』、鳥山敏子先生の『命に触れる』について豊富な映像資料を交えて、わかりやすく解説します。	村井 淳志(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会第2講義棟 402講義室	6時間	平成29年8月12日	教諭 養護教諭 栄養教諭	「いのち」の教育に関心を持つ県下の教員	6,000円	100人	「C-44」「C-46」「C-47」の受講はできません。
C-46	道徳・倫理(いのちの教育)	日本におけるDeath Educationの典型実践、金森俊朗先生の『性の授業 死の授業』、鳥山敏子先生の『命に触れる』について豊富な映像資料を交えて、わかりやすく解説します。	村井 淳志(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会第2講義棟 402講義室	6時間	平成29年8月26日	教諭 養護教諭 栄養教諭	「いのち」の教育に関心を持つ県下の教員	6,000円	100人	「C-44」「C-45」「C-47」の受講はできません。

C-47	道徳・倫理(いのちの教育)	日本におけるDeath Educationの典型実践、金森俊朗先生の『性の授業 死の授業』、鳥山敏子先生の『命に触れる』について豊富な映像資料を交えて、わかりやすく解説します。	村井 淳志(人間社会研究域学校教育系教授)	のとふれあい文化センター 学習室1, 2	6時間	平成29年7月23日	教諭 養護教諭 栄養教諭	「いのち」の教育に関心を持つ県 下の教員	6,000円	50人	「C-44」 「C-45」 「C-46」の 受講はでき ません。
C-48	福島第一原発事故と新しいエネルギー社会	福島第一原発事故はなぜ起きたのか、現在どのような状況なのか、周辺地域の汚染はどうなっているのか、事故の国民負担はどの程度の金額になるのかなど、包括的に福島第一原発事故そのものの解説と自然と社会への影響やその後の制度改正などを説明する。合わせて、今後を考えるために再生可能エネルギーに関して国内外の取り組みや課題も説明する。事故後、これらの問題に関心をお持ちの先生方は多いと思うが、まとまって基礎的な勉強ができる機会は減多にないと思う。受講して授業に活かしていただけたらと思う。	土井 妙子(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会第2講義棟 401講義室	6時間	平成29年7月17日	教諭 養護教諭	石川県下の教諭・養護教諭	6,000円	100人	
C-49	高等学校・中学校における総合的な学習の時間のカリキュラムづくり	本講習では、はじめに、受講生自身(自校)の行っている総合的な学習の時間(中・高)の実践内容や実態、課題などについて共有し合う。その上で、探究的な学びを核とする総合的な学習の時間の意義やカリキュラムづくりについて、全国の高等学校・中学校における優れた実践等を参考にしながら学ぶ。最後に小グループ(個人の場合もありうる)ごとに授業やカリキュラムの作成を行い、探究的な学びを構成する力の向上を旨としたい。	松田 淑子(人間社会研究域学校教育系教授)	人間社会第2講義棟 208講義室	6時間	平成29年8月23日	教諭	中学校・高等学校教諭	6,000円	20人	
C-50	持続可能な開発のための教育(ESD)入門	2008年の小中学校の学習指導要領改訂、2009年の高等学校の学習指導要領改訂により組み込まれた「持続可能な開発のための教育(ESD)」について、その概念、学校や地域での実践事例、学校と地域との連携の進め方等について学ぶとともに、ESDを盛り込んだカリキュラムの作り方について考察する。	鈴木 克徳(国際基幹教育院GS教育系教授)	人間社会第2講義棟 208講義室	6時間	平成29年8月12日	教諭 養護教諭	教諭・養護教諭	6,000円	20人	